



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 045-474-9000

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,314	5.4	790	31.5	837	23.3	346	△10.2
25年3月期第2四半期	10,733	△18.1	601	△32.6	679	△29.9	385	△26.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 347百万円 (5.1%) 25年3月期第2四半期 330百万円 (△37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	19.77	19.38
25年3月期第2四半期	22.05	21.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	26,895	22,926	83.7
25年3月期	26,527	22,683	84.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 22,517百万円 25年3月期 22,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.9	1,100	44.5	1,200	30.6	450	△13.9	25.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	18,218,901 株	25年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	653,459 株	25年3月期	715,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	17,533,646 株	25年3月期2Q	17,503,572 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融政策を背景に円高の是正や株価の上昇が進み、雇用や所得環境の一部にも改善の兆しが見られるなど景気回復への期待感が高まっておりますが、全体としては実体経済の改善までに至っておりません。さらに、円安による物価上昇や来春の消費税増税による消費減退に加え、新興国経済の下振れリスクも懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、低調が続いていた薄型テレビやパソコン等の民生機器関連では一部回復の兆しが見えるものの、本格化には至っておらず、一方、スマートフォンやタブレット端末等のモバイルコンピューティング関連、電子部品関連は好調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高113億14百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益7億90百万円（同31.5%増）、経常利益8億37百万円（同23.3%増）、四半期純利益3億46百万円（同10.2%減）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第2四半期連結累計期間分を変更後の算定方法により組み替えて行っております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、仕入先・顧客など取引先との関係強化及び新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、他社製品からの移行及び長期契約の更新が順調に進んだことなどにより好調に推移いたしました。自社製テストシステムは、海外向けは前年同期には及ばなかったものの、国内半導体メーカーにおきましては、需要回復の兆しが見え始め、売上に大きく貢献いたしました。また、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスも堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は71億76百万円（同28.6%増）、セグメント利益は13億94百万円（同79.2%増）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA市場の低迷により、前年同期比で売上高が大きく落込みました。デバイス部門は、レーザーダイオードドライブは価格競争の激化により売上高が減少したものの、MFP向けマイクロプロセッサ、高画質デジタル機器対応チップは需要増に伴い堅調に推移いたしました。また、アイティアアクセス株式会社は、受託開発が開発効率向上により好調に推移したものの、組み込みソフトウェアのライセンス販売の落込みにより前年同期実績を下回りました。

その結果、当事業の売上高は41億38百万円（同19.7%減）、セグメント損失は1億74百万円（前年同期はセグメント利益1億9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、268億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億68百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が減少したものの受取手形及び売掛金や有価証券、商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は39億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加しております。これは主に、買掛金が減少したものの未払法人税等や賞与引当金が増加したことなどによるものであります。

純資産は229億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億43百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は83.7%となり、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント低下しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、14億56百万円の減少(前年同期は8億59百万円の減少)となりました。これは、営業活動によって9億63百万円、投資活動によって4億2百万円、財務活動によって1億28百万円を使用したためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果使用した資金は、9億63百万円(前年同期比281.3%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を6億22百万円計上したものの、売上債権の増加10億76百万円、仕入債務の減少6億69百万円、たな卸資産及び前渡金の増加8億27百万円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、4億2百万円(同13.8%減)となりました。これは主に、保険積立金の積立に96百万円、投資有価証券の取得に1億87百万円、長期前払費用の取得に63百万円を支出したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、1億28百万円(同13.2%減)となりました。これは主に、配当金の支払いに1億21百万円を支出したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第2四半期連結会計期間より、ウインクエフエックス株式会社は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,902,539	2,946,478
受取手形及び売掛金	6,346,203	7,559,434
有価証券	—	499,791
商品及び製品	1,163,110	1,586,602
その他	1,962,753	2,099,572
貸倒引当金	△1,302	△22,618
流動資産合計	14,373,305	14,669,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,698,072	7,714,415
減価償却累計額	△3,596,369	△3,661,851
建物及び構築物（純額）	4,101,703	4,052,563
土地	5,668,131	5,668,131
その他	799,480	822,889
減価償却累計額	△545,627	△561,963
その他（純額）	253,852	260,925
有形固定資産合計	10,023,687	9,981,620
無形固定資産		
のれん	134,620	111,501
その他	140,668	144,080
無形固定資産合計	275,289	255,581
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,845	984,813
その他	755,974	1,063,379
貸倒引当金	△7,697	△59,174
投資その他の資産合計	1,855,122	1,989,018
固定資産合計	12,154,098	12,226,221
資産合計	26,527,404	26,895,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,265,754	747,213
未払法人税等	167,401	454,768
賞与引当金	30,597	114,239
役員賞与引当金	—	6,370
その他	1,911,176	2,194,369
流動負債合計	3,374,930	3,516,960
固定負債		
退職給付引当金	234,936	222,186
役員退職慰労引当金	58,770	64,502
その他	175,578	164,982
固定負債合計	469,284	451,671
負債合計	3,844,215	3,968,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,323,460
利益剰余金	4,672,896	4,876,334
自己株式	△283,010	△258,521
株主資本合計	22,227,903	22,458,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,372	76,832
繰延ヘッジ損益	△5,497	6,047
為替換算調整勘定	12,947	△23,871
その他の包括利益累計額合計	60,822	59,009
新株予約権	183,089	195,322
少数株主持分	211,373	214,085
純資産合計	22,683,189	22,926,849
負債純資産合計	26,527,404	26,895,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	10,733,413	11,314,861
売上原価	7,727,752	8,034,912
売上総利益	3,005,660	3,279,949
販売費及び一般管理費	2,404,325	2,489,151
営業利益	601,335	790,797
営業外収益		
不動産賃貸料	213,918	224,351
その他	39,797	55,252
営業外収益合計	253,716	279,603
営業外費用		
不動産賃貸費用	162,863	165,383
持分法による投資損失	8,952	55,578
その他	3,955	11,903
営業外費用合計	175,772	232,865
経常利益	679,279	837,536
特別利益		
新株予約権戻入益	—	964
投資有価証券売却益	—	259
特別利益合計	—	1,223
特別損失		
投資有価証券評価損	—	216,264
特別損失合計	—	216,264
税金等調整前四半期純利益	679,279	622,494
法人税等	286,706	273,213
少数株主損益調整前四半期純利益	392,572	349,281
少数株主利益	6,656	2,712
四半期純利益	385,915	346,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	392,572	349,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,557	23,459
繰延ヘッジ損益	27,054	11,545
為替換算調整勘定	△21,396	△36,818
その他の包括利益合計	△61,899	△1,813
四半期包括利益	330,672	347,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324,016	344,756
少数株主に係る四半期包括利益	6,656	2,712

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	679,279	622,494
減価償却費	166,910	158,523
のれん償却額	17,099	23,119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△256	71,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63,118	83,641
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,898	△12,750
受取利息及び受取配当金	△4,933	△6,497
持分法による投資損益 (△は益)	8,952	55,578
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	216,264
売上債権の増減額 (△は増加)	1,451,560	△1,076,909
たな卸資産及び前渡金の増減額 (△は増加)	△2,950,466	△827,980
仕入債務の増減額 (△は減少)	535,231	△669,851
前受金の増減額 (△は減少)	515,244	373,079
その他	△275,252	△95,664
小計	226,385	△1,085,100
利息及び配当金の受取額	4,252	5,532
利息の支払額	△278	△184
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△483,137	116,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	△252,776	△963,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△36,688	△34,503
無形固定資産の取得による支出	△27,425	△24,557
長期前払費用の取得による支出	△58,880	△63,745
投資有価証券の取得による支出	△120,300	△187,079
投資有価証券の売却による収入	26,801	259
保険積立金の積立による支出	△141,789	△96,083
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△116,760	—
その他	7,354	2,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△467,687	△402,987
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△121,580	△121,590
その他	△26,065	△6,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,645	△128,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,698	38,618
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△859,410	△1,456,270
現金及び現金同等物の期首残高	2,970,444	4,402,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,111,033	2,946,269

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,580,762	5,152,650	10,733,413	—	10,733,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,580,762	5,152,650	10,733,413	—	10,733,413
セグメント利益	778,288	109,088	887,377	△286,042	601,335

(注) 1. セグメント利益の調整額△286,042千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△286,224千円及び棚卸資産の調整額182千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,176,552	4,138,309	11,314,861	—	11,314,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,176,552	4,138,309	11,314,861	—	11,314,861
セグメント利益又は損 失(△)	1,394,625	△174,104	1,220,521	△429,723	790,797

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△429,723千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△433,527千円及び棚卸資産の調整額3,803千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業況をより適切に把握するため、販売費及び一般管理費の配賦方法の見直しを行い、従来、各報告セグメントに配賦していた管理費用の一部を各報告セグメントに配賦せず調整額に含めることとしております。

なお、前第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。